

行啓記念寫真帳

大正十一年十一月

行啓記念寫真帳

高知大林区署

卷頭の辭

今茲大正十一年十一月畏くも

攝政宮殿下には、陸軍大演習御統監の爲め、吾四國に行啓あらせ給ふに當り、普く鶴駕を四縣下に枉けさせられ、御親しく民情を御巡視あらせ給ふ慈雨に霑ふ民草の歡ひ、寔に、譬ふるにもものなし仍ち、當署は管内に於ける各種事業の實況を影寫し、印刷に付し、以て一小冊子を編み、廣く關係者に頒たんとす、蓋し、千載一遇の光榮を永久に、記念し奉らむとする所以なり

大正十一年十一月

高知大林區署長

成川房幸謹識

高知大林區署寫真帳目次

目次

- 第一號 高知大林區署廳舍
- 第二號 高知大林區署管內圖

林相

- 第三號 杉林相
- 第四號 樅林相
- 第五號 檉林相
- 第六號 白檜林相
- 第七號 馬目徑林相
- 第八號 全
- 第九號 椿林相
- 第十號 黑竹林相

保安林

- 第十一號 魚附保安林 其一
- 第十二號 全 其二
- 第十三號 防風保安林
- 第十四號 風致保安林 其一
- 第十五號 全 其二

保護林

- 第十六號 白髮山保護林遠望
- 第十七號 面河山保護林

人工植栽

- 第十八號 杉扁柏造林三年生 其一
- 第十九號 全 九年生 其二
- 第二十號 全 十三年生 其三
- 第二十一號 全 十七年生 其四
- 第二十二號 全 十七年生間伐 其五
- 第二十三號 全 二十二年生 其六
- 第二十四號 全 二十七年生 其七
- 第二十五號 全 二十八年生 其八
- 第二十六號 全 百年生 其九

第二十七號 扁柏造 林十九年生
 第二十八號 扁 柏二十二年生間伐
 第二十九號 樺 造 林十七年生 其一
 第三十號 全 樺 造 林十六年生 其二
 第三十一號 樺 造 林十六年生
 第三十二號 黑松山橙造林地
 第三十三號 樟 造 林 其一
 第三十四號 全 枝條採取 其二
 第三十五號 全 枝條採取 其三

砂 防植栽

第三十六號 砂防植栽前ノ狀況 其一
 第三十七號 砂防積苗工事 其二
 第三十八號 全 完 成 其三
 第三十九號 全五ヶ年後ノ狀況 其四
 第四十號 全 林 內 狀況 其五
 第四十一號 砂防植栽ト裸地 其六

防 火 線

第四十二號 防 火 線 其一
 第四十三號 全 其 二

苗 圃

第四十四號 除草ト害虫驅除ノ狀況
 第四十五號 林 內 苗 圃

伐木及集材

第四十六號 白髮 作業 所
 第四十七號 伐 木 狀 況
 第四十八號 造 林 狀 況
 第四十九號 木寄小出シ狀況
 第五十號 木 馬 荷 積 場
 第五十一號 集材機作業狀況
 第五十二號 集 材 機
 第五十三號 炭竈天井叩キ狀況
 第五十四號 木炭鐵線小出シ狀況

運搬事業

第五十五號 馬車運搬狀況
 第五十六號 柚材軌道搬出狀況
 第五十七號 空「トロ」犬曳ノ狀況
 第五十八號 「インクライン」搬出狀況
 第五十九號 空「トロ」鐵索曳上ケ裝置

鐵道

第六十號 森林鐵道 其一
 第六十一號 全 其二

貯木場製材所

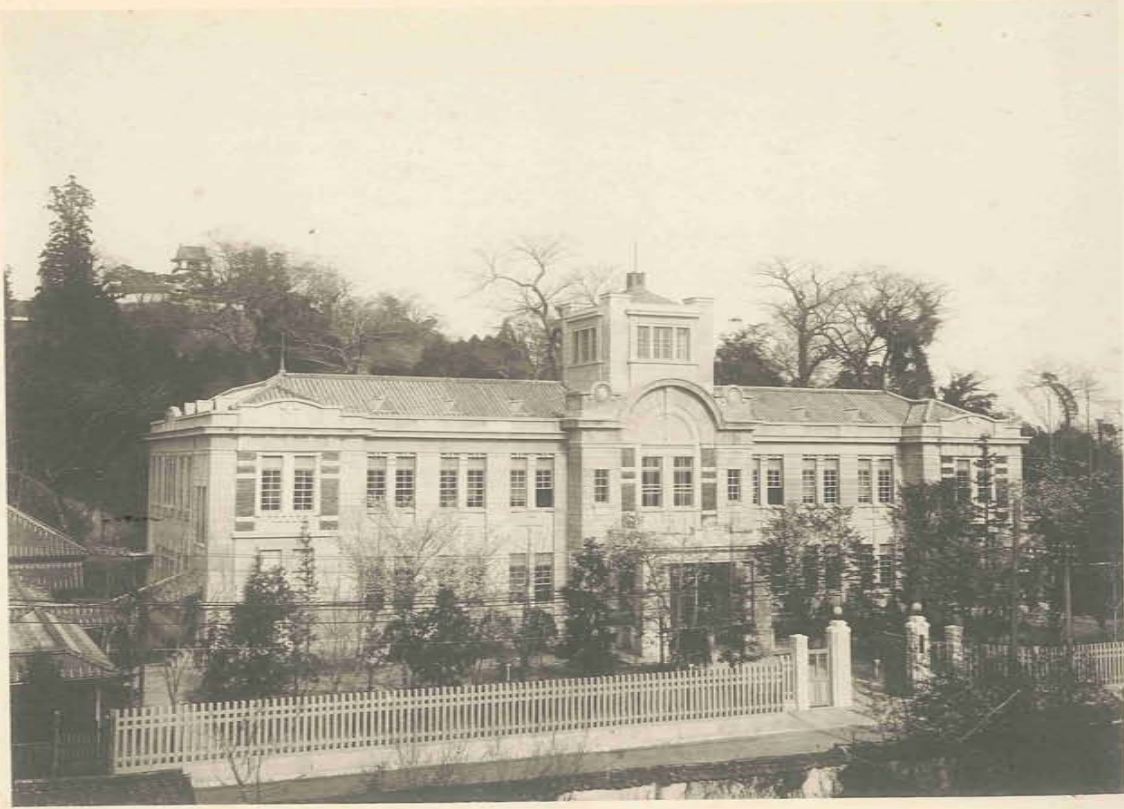
第六十二號 汗見土場
 第六十三號 田野貯木場
 第六十四號 久禮貯木場
 第六十五號 馬路製材所
 第六十六號 製板工場

砂防工事

第六十七號 溪流荒廢狀況
 第六十八號 石堰堤築設工事
 第六十九號 石堰堤 其一
 第七十號 全 其二
 第七十一號 全 其三
 第七十二號 主要樹種
 以上

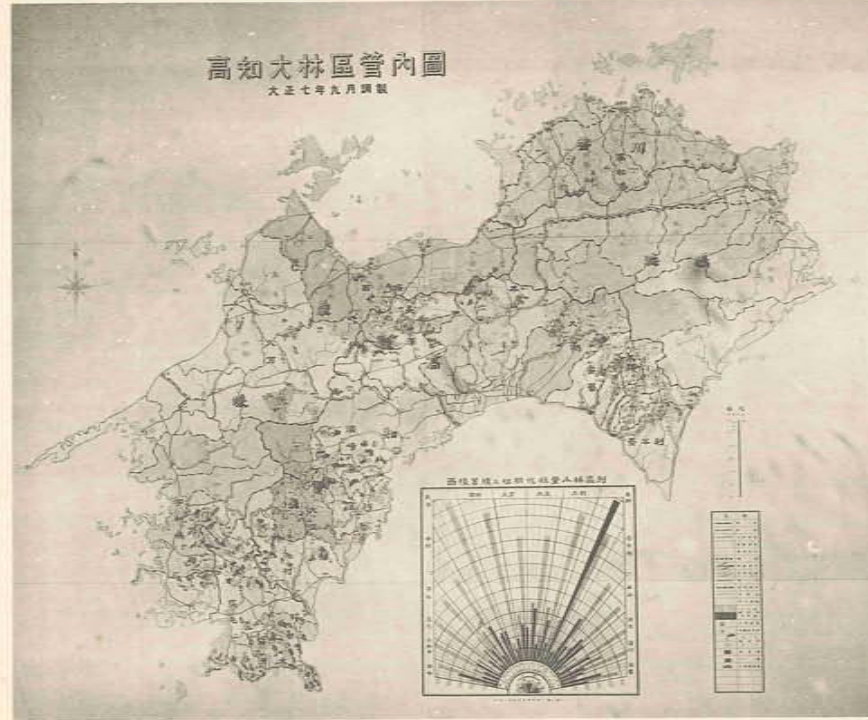
第一號

高知大林區署廳舍



高知市西弘小路にあり、高知、徳島、香川、愛媛の四縣を管轄し、其區域内の國有林野及部分林並に公有林野官行造林の事務を掌る、管轄する國有林野面積十七萬七千餘町歩あり、管内に十六ヶ所の小林區署と外に徳島縣に一ヶ所の公有林野官行造林署ありて、各主管の事務を分掌す

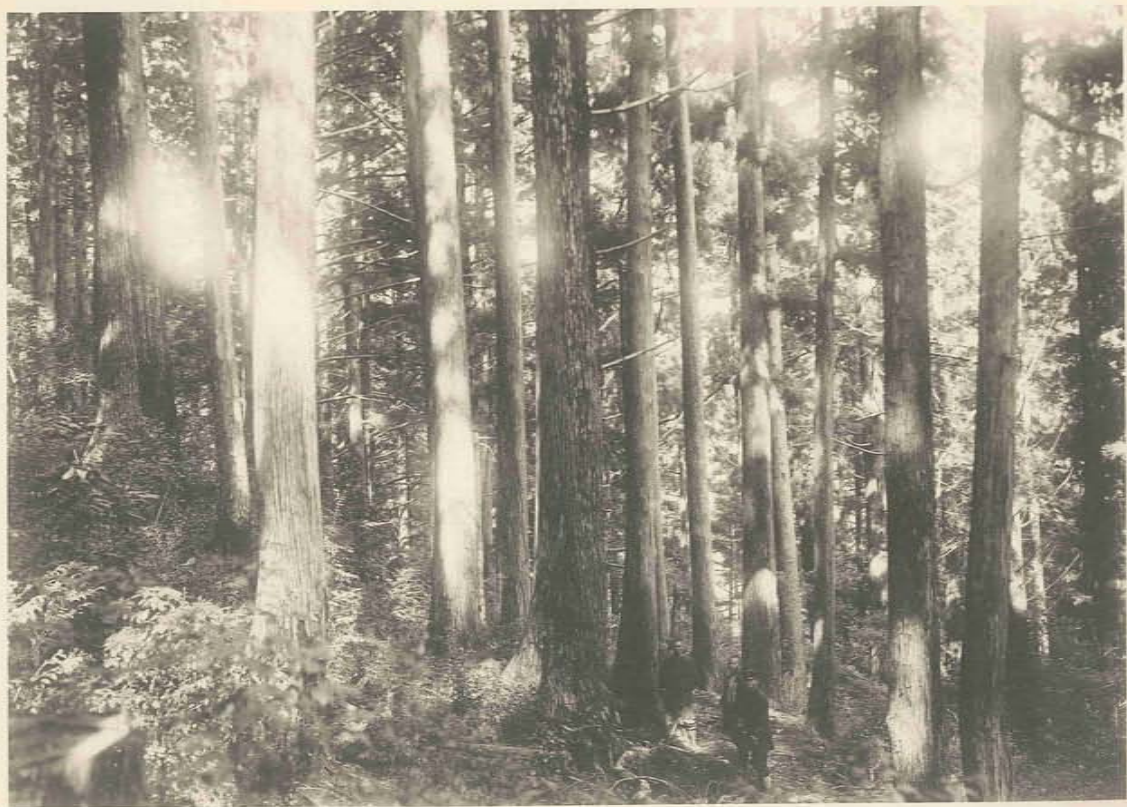
高知大林區署管内圖



高知大林區署の管轄する國有野の分布状態を大觀する圖面にして、管内、四國の總面積約百三十三萬四千町步中、耕地地二割を控除すれば、其餘は山林にして、國有林野は又其の二割に當る、圖の下方に方形の圖表あるは小林區署別蓄積を現はしたるものにて、總蓄積九千二百萬石あり、樅、梅、樺の良材に富み、就中、魚梁瀬の美林は天下に名高し

第三號

杉林相



高知縣安藝郡北川村野川山國有林、28林班、に小班、面積三十三町步、蓄積八萬二千石を有す、僅少の扁柏、樅等を混すれども、其八割以上は百年乃至二百年生の杉にして、巨大なる直幹亭々として天を摩する所、頗る美觀を呈す、故に大材生産の目的にて特に長期輪伐作業級に編入せり

第四號

樅
栂
林
相



高知縣安藝郡馬路村魚梁瀬字一ノ谷山國有林なり、魚梁瀬山は面積九千餘町歩にして管内最も優秀の美林なり、峯筋には杉の單純林分ある外、中腹以下は、凡て、樅、栂の大木亭々として密生し、枝條、相重りて天日を蔽ふ、蓄積毎町二千石を超へ、樹齡百七十年を算へ、直徑平均二尺五寸、樹高十七八間を有す、御留木して昔時より保存されたるものは、特に巨大にして一目喫驚せざるものなし

第五號
櫟
林
相



愛媛縣上浮穴郡楢川村坂瀬山國有林、15林班、の一部なり、林地は緩斜にして、
海拔九百米突乃至千四百米突の間にあり、榎、山毛櫟、等を混す八十年乃至二
百年生の、櫟、最も多く、直径、平均一尺三寸、樹高、十五間以上を有す、特
別の大材と見るもの少なしと雖も、何れも枝下長く極めて優良なり、圖中の白
き部分は即ち櫟にて、材積、毎町三百石、秋色深く、翠、紅、相雜ふる、美觀
亦譬へ難し。

白 檜 林 相



愛媛縣上浮穴郡柳川村面河山國有林、11林班、は小班なり、石槌山脉中の最高
峯、石槌山嶺の南面に位置し、海拔千八百米突にて、傾斜、頗る峻峻、容易に
登攀すへくもあらず、林相は僅少の、五葉松、及、白樺等を交へて老幼、不整
なれども直徑七八寸、樹高七八間、樹齡約二百年を算するもの、巖窟の間に群
生す、白銀の鏡を著けたる如き、白檜、の成林、又他に求むべからず

第七號

馬目櫟林相其一



高知縣幡多郡奥内村大字桶浦字弦塙山國有林、3林班、い小班、面積三十四町歩、馬目櫟は此地方に多きも、就中、純林状態を爲すを以て、學術考証に資する爲め保護林に編入せり、全山は半島狀を爲して、海中に突出し、青碧海波に浮ぶか如き風光亦稱すべし



前葉の林内状況なり、(ひちき)、(やまもも)等も混すれども、大部分は林齡、
五十年生の、馬目櫟にして、胸高、直徑、平均三寸五分、樹高、三四間、を有
し、蓄積、毎町七百五十石を算す、材は、髓、臍、髓、幹等に造るべく、又木
炭、原料としては、最も優秀の地位にあるものなり



高知縣幡多郡奥内村楠浦、奥轟山國有林、4林班、に小班の内、面積、僅かに二三町歩に過ぎざれども、椿、の單純林にして、林齡四十年、直徑、平均三寸五分、直幹にして、高さ四間内外を有す、蓄積毎町、約七百石、丹花咲亂るる所美觀譽ふるに物なし

第十號

黒竹林相



高知縣高岡郡上の加江町、深谷灘山國有林、92林班、ろ小班なり、明治二十三年度の新植地にして面積、狭小なれども、此地方の黒竹模範林として、適當なり

魚附保安林 其一



高知縣高岡郡與津村三崎山國有林、面積、百三十町步、東、南、西の三方は、太平洋に面し、傾斜、峻嶒、獨立の島嶼的森林なり、附近は、鱒、鮭、大敷の網代なるを以て明治三十六年、魚附保安林に編入し、禁伐林と爲す



高知縣幡多郡奥内村大字古満日、赤高山國有林、16林班、ろ小班、面積十五町歩、林木は、榊、最も多く（しちき）、（やまもも）之れに次ぎ、林齡、二十五年、蓄積、每町三百四十石あり、南、古満日岬と相對し、古満日灣を擁す、灣内、大敷、漁業、盛にて、水深し、魚附保安林に編入し、帶狀皆伐作業の方法を採り更新す、圖中、左方は、齒菜地を整理、造林せるものなり

防風保安林



高知縣幡多郡入野村入野濱林園有林、面積、約三十七町歩の一部なり、太平洋に面し、東北より西南、半里に渉る、一帯の松林は、白浪打寄する畔り、風光最も佳に、黒松の巨木、枝を交へて、防風の効、偉大なるを以て、防風保安林に編入し、閉鎖の破れんとする標地には、黒松の補植を爲しつつあるものなり



香川縣木田部灣元村屋島國有林なり、瀬戸内海に突出する、獨立の丘陵林にて
海拔二百九十米突の頂上に大なる平地あり、圖中、右は屋島、左は壇の浦古戦
場にして、風光頗る明媚、高松市に近くして、遊覽の客、常に絶へず、大正五
年、名勝古蹟保存の目的にて、風致保安林に編入されたるものなり

風致保安林 其二



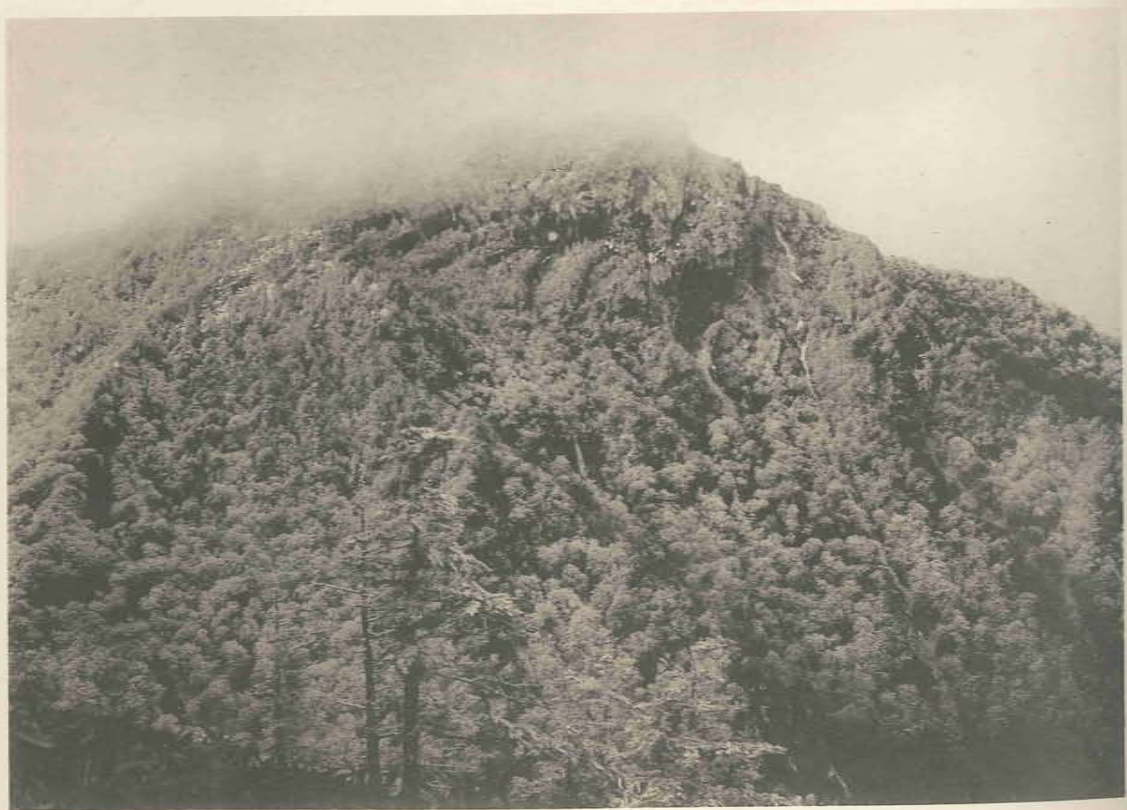
香川縣木田郡庵治村、御殿國有林は、其の面積、二十四町、瀬戸内海に面して
屋島國有林と共に、勝景の地なり、往時は、高松藩主の別墅、此地にあり、御
殿の名之れより起る、初めは、魚附林なりしを、大正五年、名勝古蹟保存の目
的にて、風致林に變更されたるも魚附林として多大の効果を擧げ、林相の鬱閉
するに隨ひ、魚族、益々集來す

白髮山保護林の遠望



高知縣長岡郡本山町及吉野村に跨る白髮山國有林は、古來、檜の壓巻と稱せらる、白髮山、午旁谷山の高峰、海拔約千四百七十米突を中心とし、面積、約二百町歩を割き、學術研究の參考林として、大正四年、保護林に設定され、爾來標識をも設けて、保護しつつあり、林地は結晶片麻岩より成り、岩塊重疊、藓苔深し、東南面の木々の梢頭は風傷甚大なれども、猶二百年の齡を保つ

面河山保護林



愛媛縣上浮穴郡柚川村面河山國有林、I林班、は小班なり、北緯は約三十三度五十分にして、山嶺の石鍾山は、海拔約二千米突を示す、本小班は海拔千六七百米突以上にて、寒帯代表樹種、白檜の純林なり、白檜林は當管内、唯此の一ヶ所なるを以て、學術考證上、保存の必要を認め、保護林に設定されたり、頂上石鍾神社の邊りは、白雲漠々として起る現象は一大神秘的莊嚴たり

杉扁柏造林三年生 其一



高知縣高岡郡松葉川村、森ヶ内山國有林、24林班、い小班、面積四十五町歩、大正八年度の植栽にして、植栽本數、扁柏十七萬本、杉九千七百本、松一萬九千二百本及び樺千七百本、計十九萬六千六百本、手入下刈三回を施し、樹高平均四尺にて、良好の生長をなす

第十九號

杉 扁 柏 造 林 九 年 生 其 二



高知縣長岡郡上倉村大字中ノ川字中ノ川山國有林、102林班、は小班、大正三年度の植栽に係り、手入五回後の林況にて、樹高三間に達するもの尠からず、既に鬱閉を保ち、生育旺盛なり



高知縣高岡郡松葉川村森ヶ内山國有林にて、面積二十九町步、明治三十七年度の植栽に係り、植付本數十三萬八千本、生育良好にして、全山一望綠色の絨氈を敷く如く、頗る薜麗なり、此撮影は下刈七回枝打一回後の狀況にて、樹高五間に達するもの影からす

杉扁柏造林 十七年生 其四



高知縣長岡郡上倉村大字中ノ川字中ノ川山國有林、99林班、ろ小班、面積二十七町歩、明治三十八年度の植栽にして、本數十一萬九千餘本、下刈七回、間伐三回を行ひたるものにて、生育最も良好なり、圖中近景、三十八年植ま、遠景原生林植まの中間は、大正元年度より、全四年に渉り、連年、杉、扁柏を植栽せる所にて、高きより順次底きに及ぶ



高知縣長岡郡上倉村大字中ノ川字中ノ川山國有林、99林班、ろ小班、撫育間伐の状況なり、胸高直徑、平均四寸、高さ五間、蓄積四百石内外にあり

第二十三號

杉 造 林 二十二年生 其六



愛媛縣上浮穴郡參川村、小田深山國有林、50林班、面積二十三町步、明治三十三年度の植栽にして、本數十四萬三千餘本、直徑平均五寸、樹高八間に達するものあり、毎町材積千石を算す、斯る整然たる造林地を見るに及ひては、何人も愛林の念、油然而して、奮起せざるものなるへし

杉扁柏造林 二十七年生 其七



愛媛縣上浮穴郡參川村、小田深山園有林、58林班、に小班、面積十八町步、明治二十八年の造林地にして、杉の植付本數十七萬餘本、扁柏九千餘本、現今町當二千本にして、徑一尺二寸、樹高十五間に達するものあり、毎町千三百石の蓄積を藏す、小田深山園地は、面積七千餘町步にして、杉、扁柏の生育に好適地なり



高知縣長岡郡天坪村、立割不寒冬山國有林、105林班、は小班、明治二十八年度の植栽にて、成績良好、直徑八寸、高さ七八間に達す



高知縣長岡郡天坪村、國道筋、根引峠より右に小徑を行く、こ半里、小峯を越
ゆれば、蒼潤たる森林内に入る、之れ、立割不寒冬山國有林、104林班、い小班
なり、面積六十一町歩、舊藩時代の造林地にして、畝筋に亭々たる扁柏、空を
凌ぎ、谷間には、轟々たる杉、天を摩す、溪流淙々として氣爽かに、身心自ら
清し、直徑平均一尺五寸、樹高平均二十間、積材每町四千石を越ゆる處夥とせ
す

第二十七號

扁柏造林 十九年生



愛媛縣上浮穴郡弘形村、狼ヶ城山園有林、42林班、ろ小班、面積十町歩、明治三十六年度の植栽、本數六萬四千本にして、頗る優秀なる林相をなす、現時町當り二千五百本、平均直徑五寸、樹高八間、材積八百石内外を有す



高知縣安藝郡北川村、平野山國有林、35林班、い小班、明治三十二年度の植栽地にして、最後の手入間伐を行ひたるものなり、直徑五六寸、樹高七間内外、材積、町當り七八百石を有す

第二十九號

樟 造 林 十七年生 其一



高知縣長岡郡吉野村大字下川、大巳家山國有林、1林班、い小班、面積五十二町步、明治三十八年度に、扁柏八割、杉、樟、各々一割の割合に植栽せり、内、樟、苗木は久万小林區小栗苗圃産を移し、山麓の緩斜地を選び、塊狀的に植栽す、成績最も良好なり



前葉林内の状況にて、胸高、直径平均三寸五分、樹高十五尺を有し、生長旺盛なるものに在つては、直径七寸、高さ三間を越ゆるものあり

第三十一號

櫟

造

林

十六年生



高知縣安藝郡甲浦村、大峰山國有林、83林班、い小班、明治三十九年度の植栽地なり、成績頗る良好にて、直徑七八寸、樹高六七間のもの尠からず、薪炭林として、最も有望なり

黒松山檀造林地



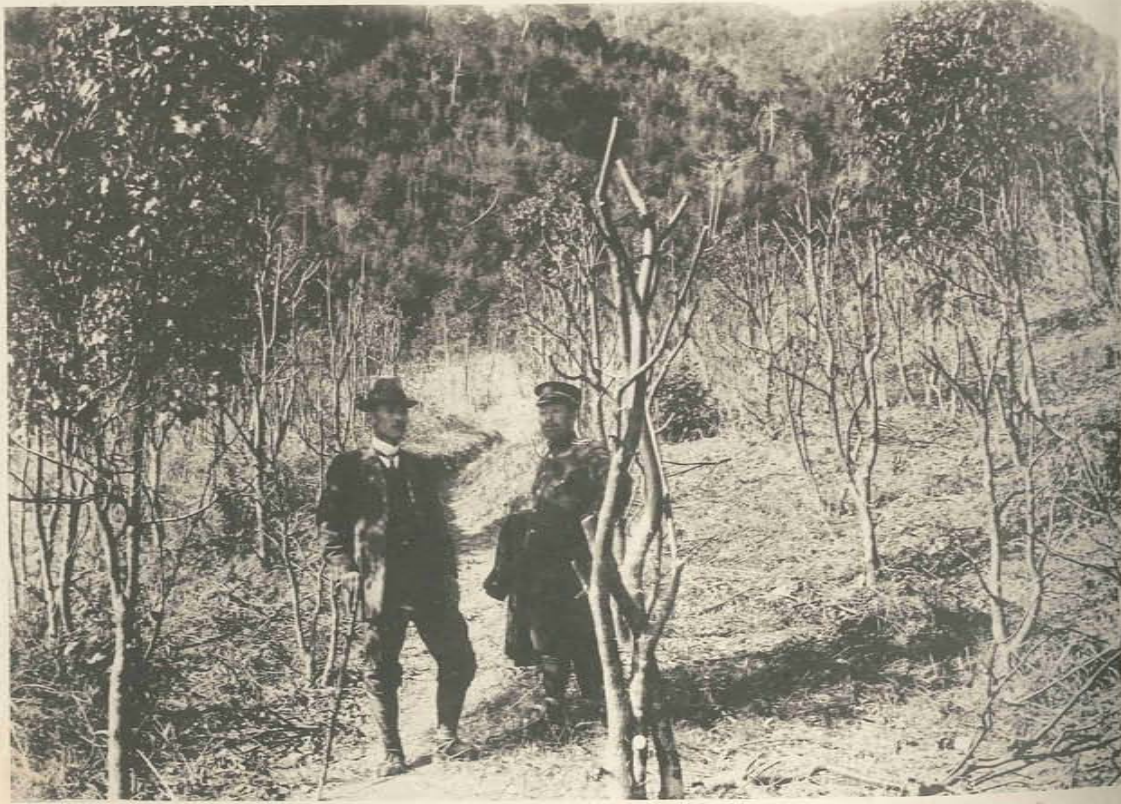
香川縣木田郡庵治村、丸山國有林は、花崗岩の風化せる、粒狀質土壤の裸地なりしか、明治三十八年、之れに黒松の造林を施したれども、多くは枯死し、残れるは何れも二尺内外の傘狀を呈せしかは、大正四年、更に山檀の大補植を行ひしに、其後は地味大いに改良せられ、盆栽的枯木も、今は旺盛なる生長をなすつゝあり



高知縣幡多郡清松村、ニッ谷山國有林、24林班、に小班、大正四年度の樟造林地、植栽本數、町當三千本にして、手入下刈四回、撫育間伐一回を施せり、樟は當地方に多く造林せられしか、何れも良好ならざりしも、本地は風土に適當し、成績良好、將來樟の一大産地さなるに至るべし



本圖は前葉樟造林地内の状況なり、七年生造林としましては、成績最も優秀なるものなり



高知縣高岡郡久禮町、松ノ川谷東平山國有林なり、明治三十八年度の樟造林模範林に於ける第一回枝條採取の狀況なり

砂防植栽前の狀況 其一



愛媛縣周桑郡楠河村大字川原津、永納山國有林、35林班、い小班、面積四十二町歩の一部なり、舊藩の頃は、鬱蒼たる松林なりしも、維新後濫伐の結果荒廢に歸し、花崗岩の風化せる土壤は極めて乾燥し易く、且つ極度の落葉採取のため、全面積の約三分の一の林内禿地を生じ、猶漸次擴大の勢を呈せるを以て、大正五年砂防植栽積苗工の事業を開始せり、本圖は其の起工前の狀況なり

砂防積苗工事 其二



前葉の砂防植栽積苗工事中の状況にして、工費は一町歩當り、約壹千圓の豫算なり



前葉、積苗工事完成せる状況にて、植栽樹種は黒松と山桜とを混植せり

全五ヶ年後の状況 其四



前業工事五年後の状況にて、黒松は四尺、山楡は五尺を抜くもの多く、成績良好なり、主木たる黒松の梢頭、山楡に磨損せらるゝを恐れて山楡を刈除せり



黒松の生長、山楹に優る個處の狀況にて、黒松の高さ五尺に及ぶ

砂防植栽と裸地 其六



愛媛縣周桑郡楠河村、永納山固有林にて、五年前までは禿緒の地なりしが、大正五年、積苗工を施し、苗木の植栽を行ひてより山姿全く變じ、翠綠瀟々る松林となりて、昔日の儼、見るへくもあらず、圖中、本固有林に墮して、右方に見ゆるは、同村の民有地にして、固有林も、曾ては此れと同様の荒廢地たりしものなり



高知縣安藝郡北川村、野根山大道北山國有林、46林班、ろ小班中、舊野根山街道の兩側へ、防火の目的にて、(ゆづりは)を並植したるものなり、街道の途中には、舊土佐藩の關所跡あり、石垣の趾、今尙ほ存し、深く蔓草蘚苔に埋もる又、土御門天皇の御行在所なりとの傳説を有する小祠も亦其の附近に在り

防火線 其二



愛媛縣新居郡加茂村、蔭山國有林、7林班に在り、幅三間半、總延長千六百餘間の間には、總て植栽せず、地表面を、五寸位の深さに剥き可燃性のものは取除き、以て野火の延焼を防ぐものなり

除草と害虫駆除の状況



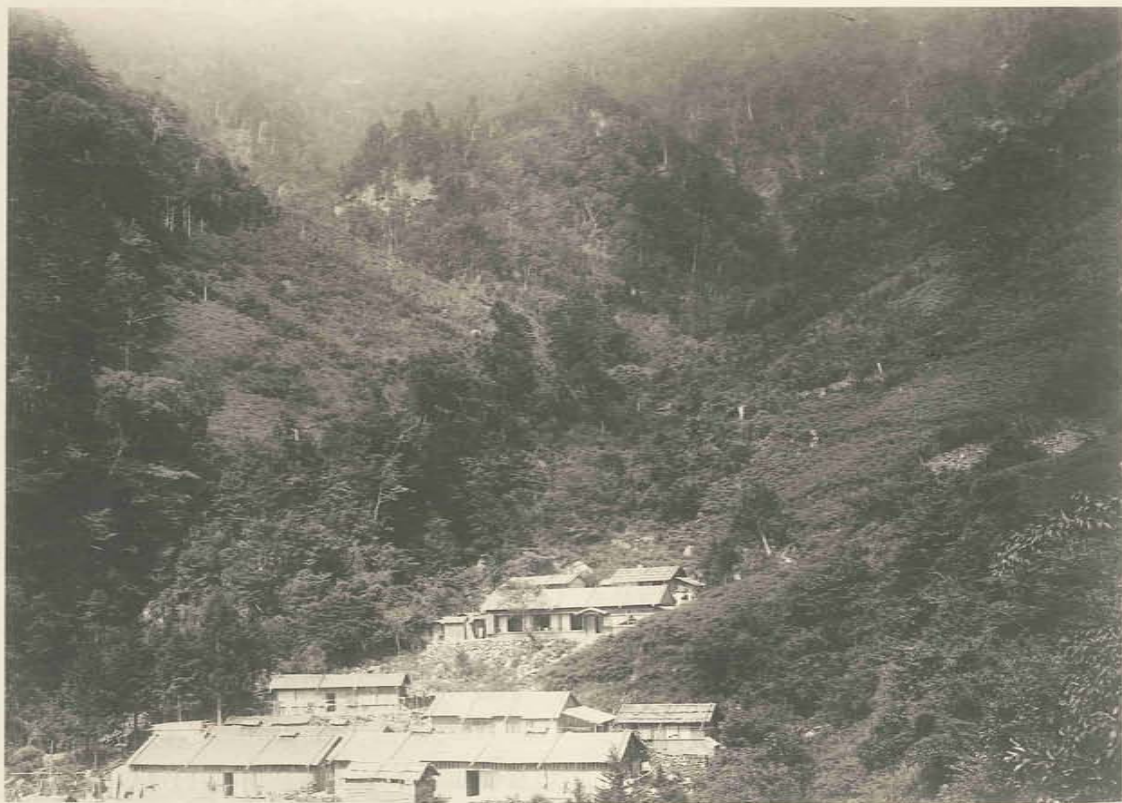
高知縣長岡郡本山町、北山苗圃は一町七反餘歩、大正四年度、民有地を買上げ開墾したるものなり、最近には七斗の播種を行ひ、六十萬本の第一回床替と五十萬本の第二回床替苗木を移植し、尙ほ山行苗木二十萬本を有す、樹種の主なるは、扁柏にて、杉、樺、栗、胡桃、樅、梅等もあり、又肥料試験、害虫飼養試験等をも實行中に屬す

林内苗圃



高知縣高岡郡松葉川村、森々内山國有林内に、平地一町歩を選みて、苗木を養成す、現在使用の面積六反歩にして、扁柏、杉、樅、赤松等の種苗頗々たり年々十萬本の山行苗を生産す、本地は造林地を距る事、數町にして事業の實行頗る便利なり

白髮山作業所全景



高知縣長岡郡吉野村大字七戸、龍王山國有林内、海拔約千米突の緩斜地を選みて建設せり、本年移築したるものにて、上段は事務所及所員宿舍等にして、下段は人夫小屋及物品供給店なり、人夫小屋は南向にて、水利の便よく眺望亦佳なり

伐木狀況



高知縣長岡郡吉野村大字七戸、龍王山國有林、29林班の斫伐地に於ける、樺の伐木、三ッ紐伐りの狀況なり、此斫伐區域は海拔高約千百米突乃至千五百米突にして傾斜甚だ峻嶮なり、年伐面積約四十三町、伐採量約三萬九千石とす、樹種は樺を主とし、樅、檜、櫻等之に次ぐ
用材を搬出したる後の枝條と混生せる雜木は製炭の資材となす
一ヶ年の生産高、用材約二萬石、木炭約十萬貫なり



高知縣長岡郡吉野村大字七戸、龍王山國有林、29林班の斫伐箇所にて於ける樺の
杣角を造材する狀況なり
角は締め方をなるべく緩くし、尙ほ木の形態に應じて邊材の小部分を適度に
除くものとす

木寄小出狀況



高知縣高岡郡松葉川村、森ヶ内山國有林、33林班、森ヶ内作業所、斫伐箇所に於ける木寄の狀況なり、本作業所の年伐生産量は、柚材三萬五千石にして、用材の枝條及混生せる雜木は、製炭の資料に供す、其生産高約四十萬貫なり

木馬荷積場



高知縣安藝郡馬路村大字魚梁瀬字谷山北平山に於ける伐木の狀況なり、伐木地の集材方法は材の形態地形の緩急等に據り「ノラシ」挺子出し、修羅出し、木馬出し等の種別あり、最近には集材機、鐵索、索道等の方法も案出せられ、漸次普及の趨勢にあるは喜ぶべし
本圖は修羅と木馬の連絡する所を現はす

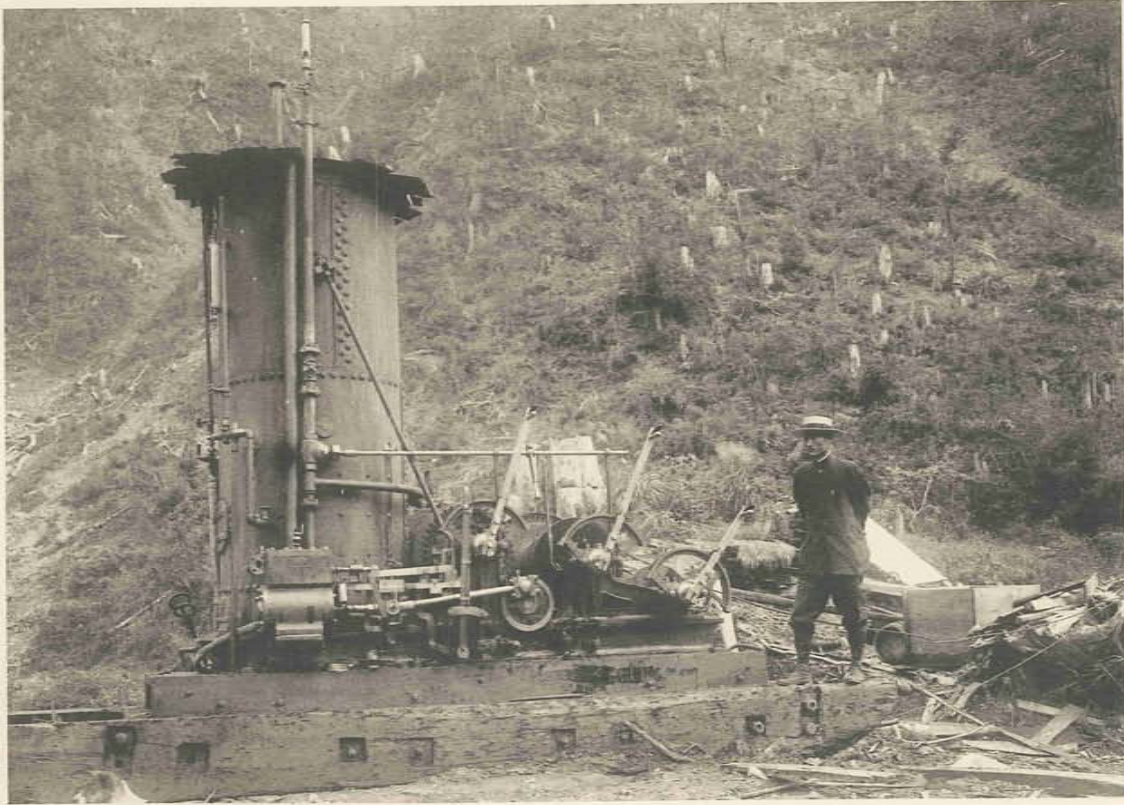
集材機作業狀況



高知縣安藝郡馬路村、千本山國有林、112林班、斫伐地に於て使用する、集材機にして、山の中腹以上は、普通の小出方法によりたるものを、更に以下本機を使用して、材を一箇所に集む

主線の延長百四十間、其傾斜三十五度にして、一回約十二石を運び、一日の功程三百五六十石とす、巨大なる木材、宙天に懸りて自ら一方に引寄せられ、自由にて操縦せらるゝ所、中々面白し

集材機



集材機の總ての裝置を取除きたる所なり

本機は山林技師、網島政吉氏が米國の「ドンキー」を、地勢、急峻、使用區域比較的狭き我山地の伐木事業に適用する様改良考案せるものにて、現在は木曾の御料林、秋田、高知の國有林に各一臺づゝを有するに過ぎず
本機を使用すれば、林地を破壊する虞なく、且材の損傷を防ぎ、尙小出し經費を節約するの利便多大なり

炭竈天井叩き



高知縣高岡郡西津野村、大古味山國有林、斫伐箇所に於ける、炭竈構造、天井叩きの狀況なり、此炭竈は縱横一丈三尺にして一回の製炭量は四十五俵にて、一ヶ年の製炭高一千五百俵内外を標準とす

木炭鐵線小出し狀況



高知縣安藝郡馬路村大字魚梁瀬、谷山北平山作業地に設置し、鐵線、四番線を使用す、傾斜二十二度、延長四百三十間あり、之を在來の木馬出しとすれば、一里餘の木馬道を造るの要あるに比し、便利亦大なる哉、一回二俵宛、一日功程三百五十俵にして、人夫四名、之れに従事す、別に動力を用ゐず、覆線二俵送りにて、日々多大の炭俵を搬送して好結果を得たり

馬車運搬狀況



高知縣高岡郡久禮町附近にして、島ノ川山及大古味山、両作業所の産物を搬出する處なり、里程は島ノ川山軌道終点より三里半、大古味山より十二里にして一ヶ年の搬出量は島ノ川山産の柚材一萬五千石、角材八百石、板類一萬五千束、木炭四萬俵、大古味山産の柚材一萬石、板類一萬五千束、木炭四萬俵、挽角千石の豫定なり

柚材軌道運搬狀況 其一



高知縣安藝郡馬路村、魚梁瀬、寶藏線、小屋敷線の分岐点なり、12ポンドレールを使用し、軌幅二呎六吋にして、一臺の積載量十五石乃至二十石なり、空トロ曳上には犬を使用す

空「卜口」犬曳狀況 其二



高知縣安藝郡馬路村、魚梁瀬軌道に於ける、空卜口曳上に犬を使役する狀況なり、山中より材木を満載して、順勾配を滑り來る時は、犬は材木の上に安坐し空車の曳上げの如き又逆勾配を上る時は、犬二頭を以て先曳をなさしむ、空車に人二三人を乗せ、優に一時間二里の行程を駛走す

インクライン搬出狀況



高知縣高岡郡仁井田村、下吳地を起点とせる、森ヶ内軌道の終点、森ヶ内山園
有林、33林班に建設す、傾斜四十度、斜距四十六間、上下の連絡施設を加へて、
七十七間、幅九尺にして、軌條は十二封度を使用す、「トロ」一臺の積載量十四
石、一ヶ年三萬石の柚材を搬出し、二ヶ年間、使用の計畫なり、別に動力を用
ふるこもなく、複線上に、一は空車を引上げ、他は積荷の儘の「トロ」が、自重
を以て滑走する装置なり

空「トロ」鐵索曳上げ裝置



高知縣安藝郡馬路村大字魚梁瀬、一ノ谷山國有林、斫伐箇所に架設す、延長二百三十二間、傾斜二十五度なり、二石以内の柚材小出しと、交換的に、空「トロ」一臺を曳上げ、急勾配軌道の、空「トロ」曳上げに、要する勞費を節約する爲、設備したる裝置にして、使用期間二ヶ年、搬出柚材八萬石なり、架設費として、壹千圓を費すも、厘代差益五千圓を算し、勞費を省く利益至大なり



高知縣安藝郡田野貯木場を起点とし、同郡馬路村大字魚梁瀬石仙土場を終点と
なし、延長二十六哩、軌間二尺五寸、二十封度軌條を布設し、工事費約七拾五
萬圓を費し、十噸機關車三臺を運轉し、每列車、柚材二百石を索引し、一ヶ年
十二萬石を運搬す



魚梁瀨國有林森林鐵道は、千本山、小屋敷山、安田川山國有林、各作業所の生産品を、輸送する計畫にて、其年伐面積、總計八十五町、伐採量十八萬二千石とす、樹種は、樺、約四割、杉、樅、此れに次ぎ、闊葉樹は、樫、櫟、「ミツメ」等多く混すれども、針葉樹に比すれば僅少なり、針葉樹は柚材とし、其枝條梢頭及闊葉樹は、製炭資材に供し、木炭の總産額五十萬貫、此等を悉く田野貯木場に運搬し、尙其餘力を以て、民營生産品の輸送に便す

汗見土場



高知縣長岡郡吉野村大字汗見、汗見川の邊りにあり、石白く、水澄みて、清淨の氣、自ら滌澄す、面積約八反歩、上流九哩の白髪作業所より、軌道にて搬送する製品を收容す、其收容能力は、柚材三萬五千石、木炭は七千五百俵なり、此處に收容せる柚材は、更に其二三町の下流より、吉野川の流に投じ、流程約四十里にして、徳島市に達し、更らに阪神市場に運送すべし

田野貯木場



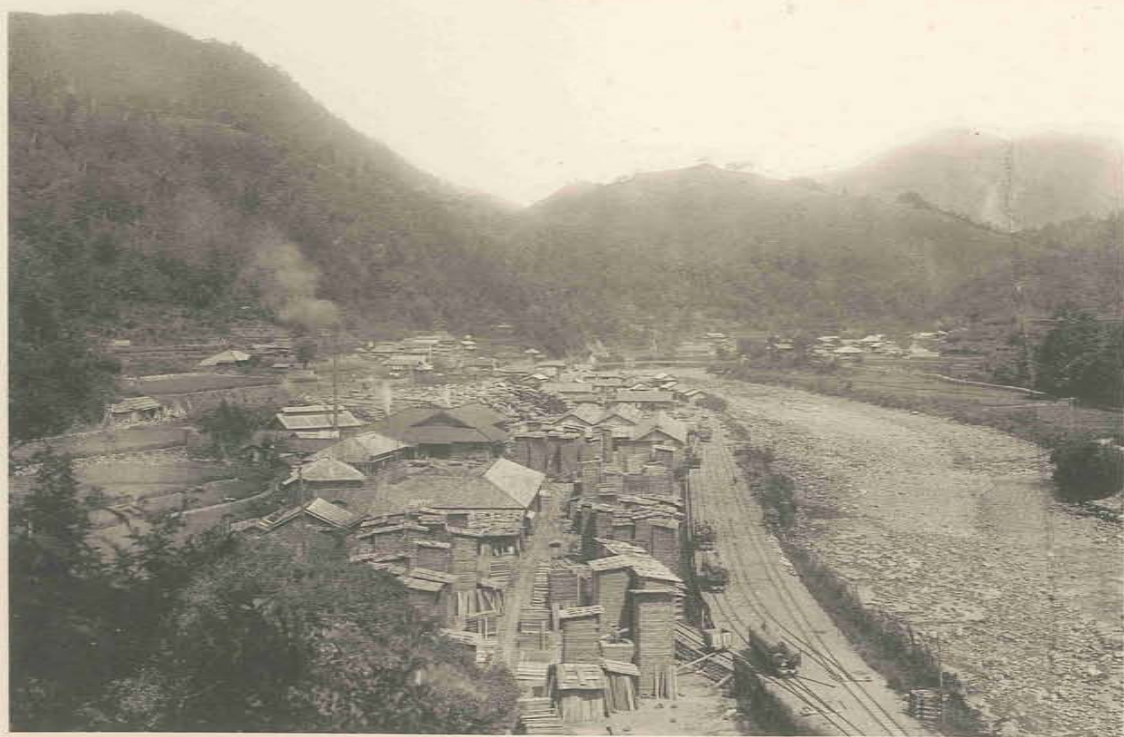
高知縣安藝郡田野町にあり、明治四十年の創設にして、面積約十町步、此處より、船運約百二十海里にして、阪神の市場に至る、運送甚だ便利なり、貯木場は海岸に近く田野町を挟みて、南、北二ヶ所に分たれ、南には製品、北は柚材を貯藏し、北方は十五萬石、南方は挽材一萬石、木炭二萬五千俵を收容する倉庫あり、構内には軌道を縦横に布設し、亦、魚梁瀬森林鐵道の起点をなす

久禮貯木場



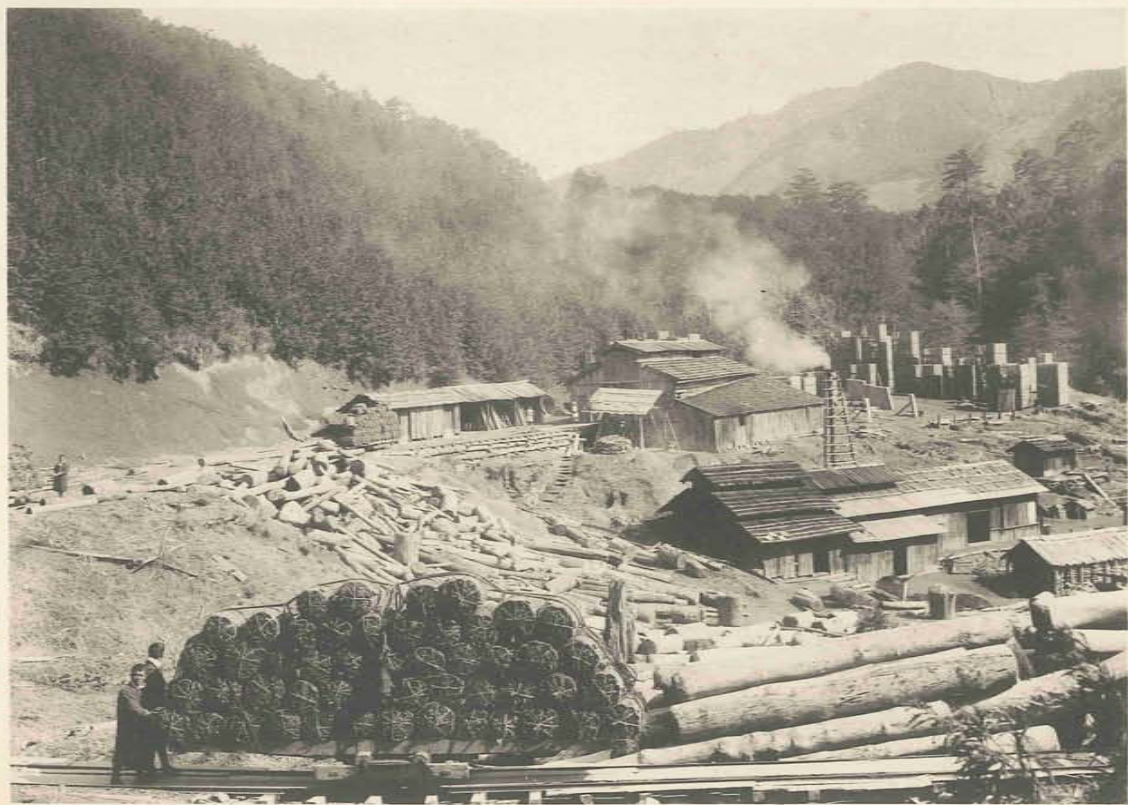
高知縣高岡郡久禮町、海濱に臨む、大正二年の創設に係り、面積約二町歩、阪
神市場を去ること百六十海里にして、船舶の出入至便なり、場内は軌道、車道
縦横に布設せられ、又、各種産物の貯藏區劃整然たり
木炭倉庫十棟、挽材倉庫二棟を有し、杣材三萬石、挽材七千石、木炭十三萬二
千俵を優に收容するを得

馬路製材所



高知縣安藝郡馬路に在り、明治四十年の創設にて、面積約一町八反歩、魚梁瀬鐵道の搬出路に當り、千本山、小屋敷山、安田川山、各國有林の所産中、劣等品、末木等を利用原料とし、薄板、厚板、小角物等を生産す、原料年額約三萬五千石とす、動力は蒸氣力にて、屑木、鋸屑を燃料に充て、汽罐二臺、蒸氣汽關七十五馬力一臺及各様の鋸機七臺を備付け人夫五十名を使用す
工場其他建物十一棟あり

簡易製板工場



高知縣高岡郡松葉川村、森々内國有林、官行作業所に在り、明治四十四年度の創設に係り、建物五棟、百二十坪を有す、日本式水車を用ひ、平時十一馬力にて、自動摩擦圓鋸、平働圓鋸、横切圓鋸及目立機、各一臺を備へ、劣等材にて市場へ搬出するも、收支償はざる概、樽を原料として、小角物及六分板等を生産し、以て木材利用の集約を期するを目的とす、原料消費高は、年額一萬二千石をなす

溪流荒廢の狀況 其一



大正九年度本縣暴風雨大洪水の際、林地崩壞して、溪谷を埋没したる高知縣幡多郡三原村大字廣野、葛掛山國有林にて、滯積土砂の深さ三十尺に及ぶ、之れに石堰堤を築設して、土砂の流出を防止せんとする設計なり

石堰堤築設工事 其二



高知縣幡多郡三原村大字廣野、烏屋尾山國有林内、前葉葛掛山に隣接して、前同様の状態にあり、之れに數個處の石堰堤築設を計劃す、本圖は其第一號堰堤の工事中にして、長さ十五間、高さ六間、馬踏の巾二間を有し、表、及、馬踏は練積を爲すものにて、此經費豫算高約參千參百圓なり

石堰堤其三



前々葉葛掛山國有林内の溪流に築設せる、石堰堤にして、延長二十七間、高さ六間、馬踏巾二間、此經費豫算高は約五千圓とす、工事に竣工せんとする所なり

石堰堤其四



高知縣安藝郡佐喜濱村、大道南山園有林、54林班、ろ小班、面積四十五町歩は、海岸佐喜濱河口より、上流三里半にして、其高き所は、海拔千米突に近し、幾百年前よりの大崩壊地にして、見るからに恐し、尙是れに隣接民有地の崩壊を加ふれば、百町歩にも上るべし、今其流出土砂の堰上に、大石堰堤を築設せる所なり



愛媛縣越智郡龍岡村、木地奥山國有林に發源する蒼社川は流程、八里餘にして瀬戸内海に注ぐ、流域の基岩は、極て脆弱なる、花剛岩より成り、河身全部に露出し、摩滅大にして、山嶽の傾斜、倍々急峻の度を加へ、崩壞も亦隨て頻々なり

國有林内の石堰堤十一ヶ所、總延長八十一間餘にして、本圖は其第一號工事にて、延長十四間、高さ五間、馬踏二間を有す

主要樹種



當署管内の樹種は針葉樹に在りては榊、杉、樺、扁柏、赤松、黒松、五葉松、
榧等、濶葉樹には、樺、榎、檜類、楓類、櫻、朴、桑等、其主要なるものなり
此圖は長岡郡吉野村白髮山、龍王山國有林にて採集せるものにて、針葉樹は榧
五葉松、扁柏、樺、榊、濶葉樹は、右より楓、榎、樺なり

大正十一年十一月 日

高知大林區署

片山コロタイプ製版部謹製

廣島市大手町二丁目十五番地